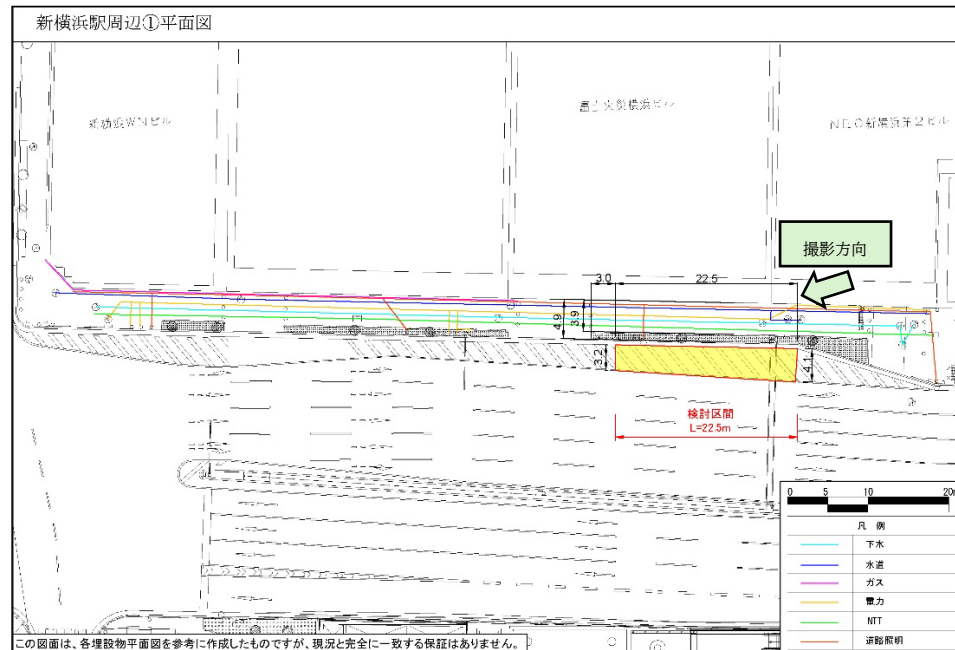


【別紙1】候補場所一覧

(1) 新横浜駅周辺①

設置場所	環状2号線ゼブラ箇所（横浜市港北区新横浜2丁目4-19地先）
位置図	
現場写真	

平面図



留意事項

■検討区間について

- ・ 道路交通法第 45 条に従い、道路に接する自動車用出入口から 3.0m 以上隔離した位置に設置を検討する
- ・ 上記平面図に示す $L = 22.5\text{m}$ の区間内で検討すること

■駐車マスの寸法について

- ・ 幅 2.5m × 長さ 5.5m とする
- ・ マス間の間隔は最低 1.0m 確保すること
- ・ 駐車マス外の側方余裕幅を考慮し、利用者の安全性に配慮すること

■区画線について

- ・ 駐車マス設置箇所の区画線を引き直し、前後のゼブラとの視認性が明確になるよう配慮すること

■充電器設置について

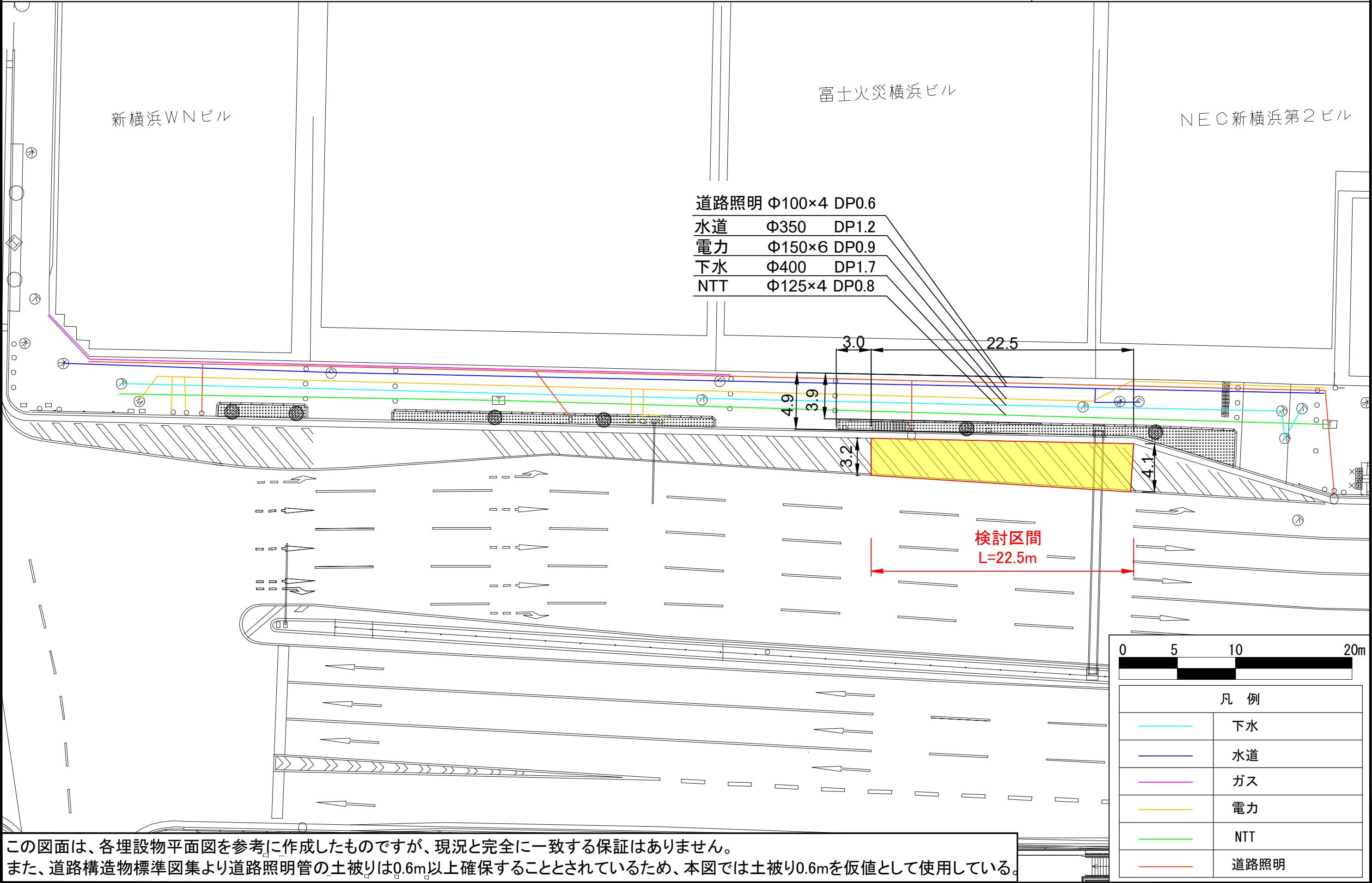
- ・ 充電器は植栽部に設置すること
- ・ 植栽部内の障害物（道路標識、街路灯）を移設せずに設置可能な位置に配置すること
- ・ 地下埋設物（道路照明用埋設管）との十分な離隔を確保すること

■交通安全対策について

- ・ 駐車マスが充電スペースであることが視覚的に分かる道路標識等を設置すること
- ・ 交差点付近は特に充電車両が本線に合流する際の安全性を考慮すること

新横浜駅周辺①平面図

縮尺 三百分の一

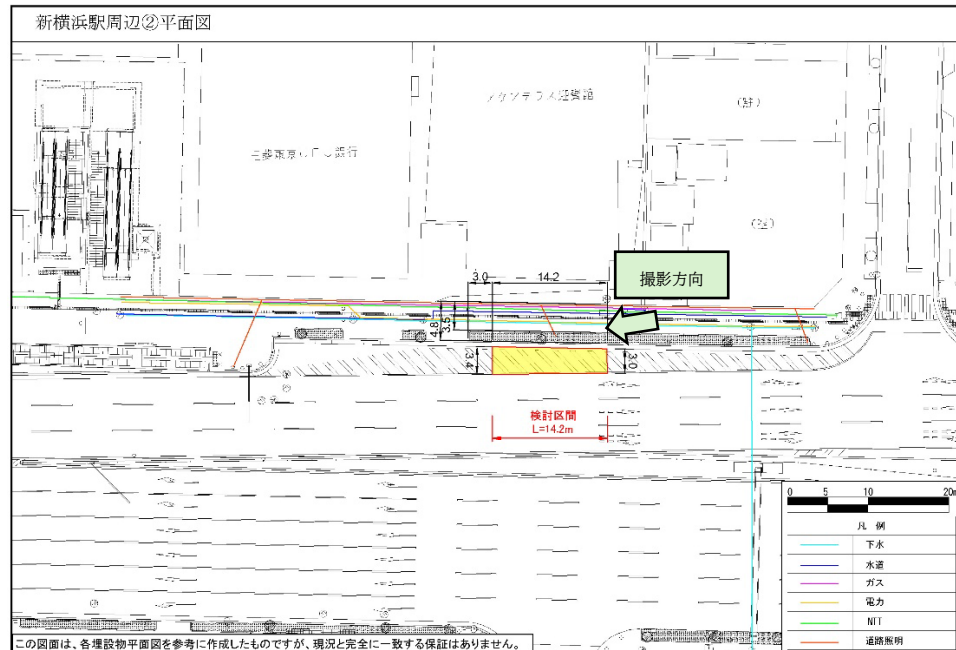


【別紙１】候補場所一覧

(２) 新横浜駅周辺②

設置場所	環状２号線ゼブラ箇所（横浜市港北区新横浜３丁目７－１５地先）
位置図	
現場写真	

平面図



留意事項

■検討区間について

- ・ 道路交通法第 45 条に従い、道路に接する自動車用出入口から 3.0m 以上隔離した位置に設置を検討する
- ・ 上記平面図に示す $L = 14.2\text{m}$ の区間内で検討すること

■駐車マスについて

- ・ 幅 2.5m×長さ 5.5m とする
- ・ マス間の間隔は最低 1.0m 確保すること
- ・ 駐車マス外の側方余裕幅を考慮し、利用者の安全性に配慮すること

■区画線について

- ・ 駐車マス設置箇所の区画線を引き直し、前後のゼブラとの視認性が明確になるよう配慮すること

■充電器設置について

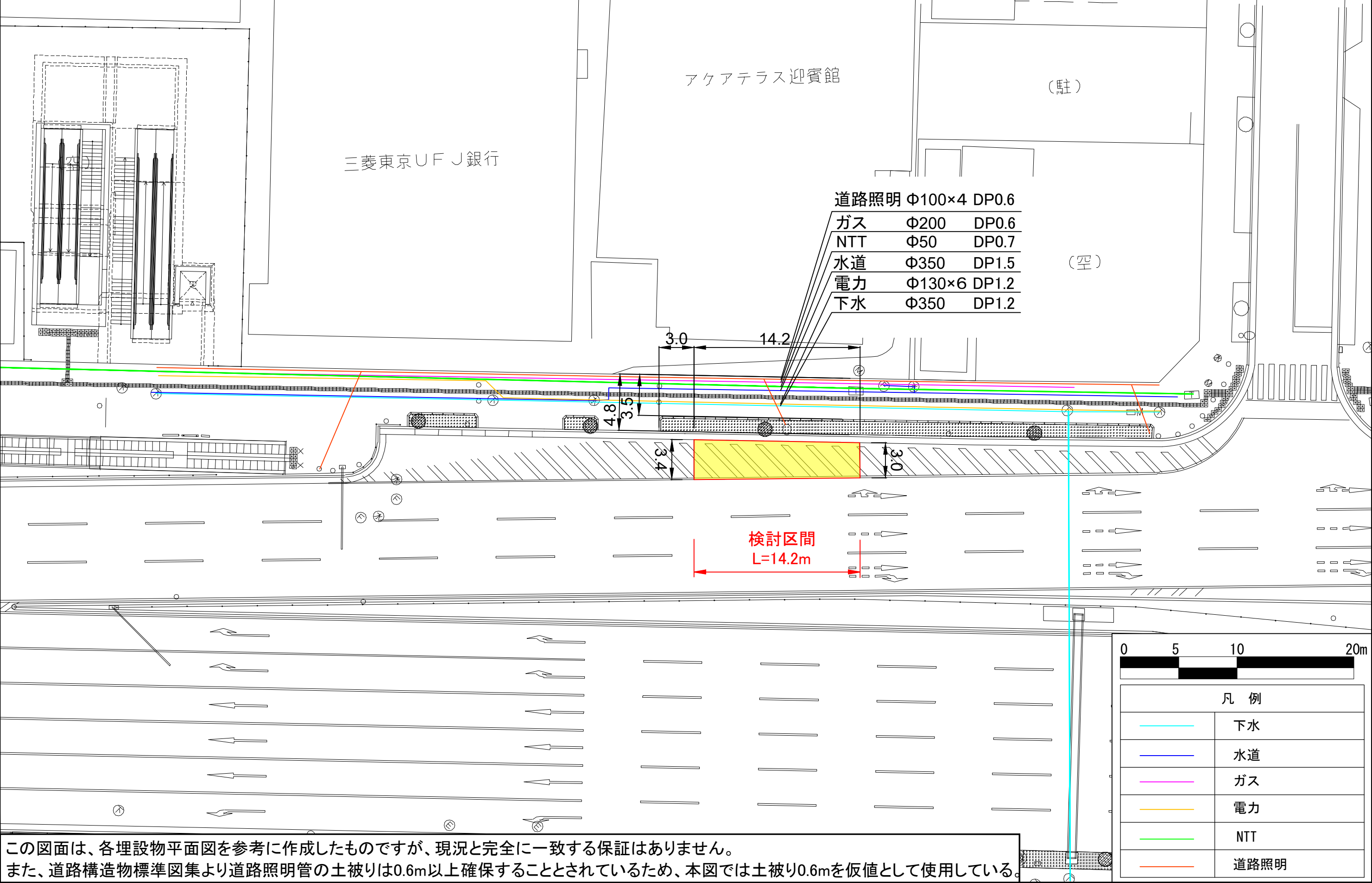
- ・ 充電器は植栽部に設置すること
- ・ 植栽部内の障害物（街路灯）を移設せずに設置可能な位置に配置すること
- ・ 地下埋設物（道路照明用埋設管）との十分な離隔を確保すること

■交通安全対策について

- ・ 駐車マスが充電スペースであることが視覚的に分かる道路標識等を設置すること
- ・ 充電車両が本線に合流する際の安全性を考慮すること

新横浜駅周辺②平面図

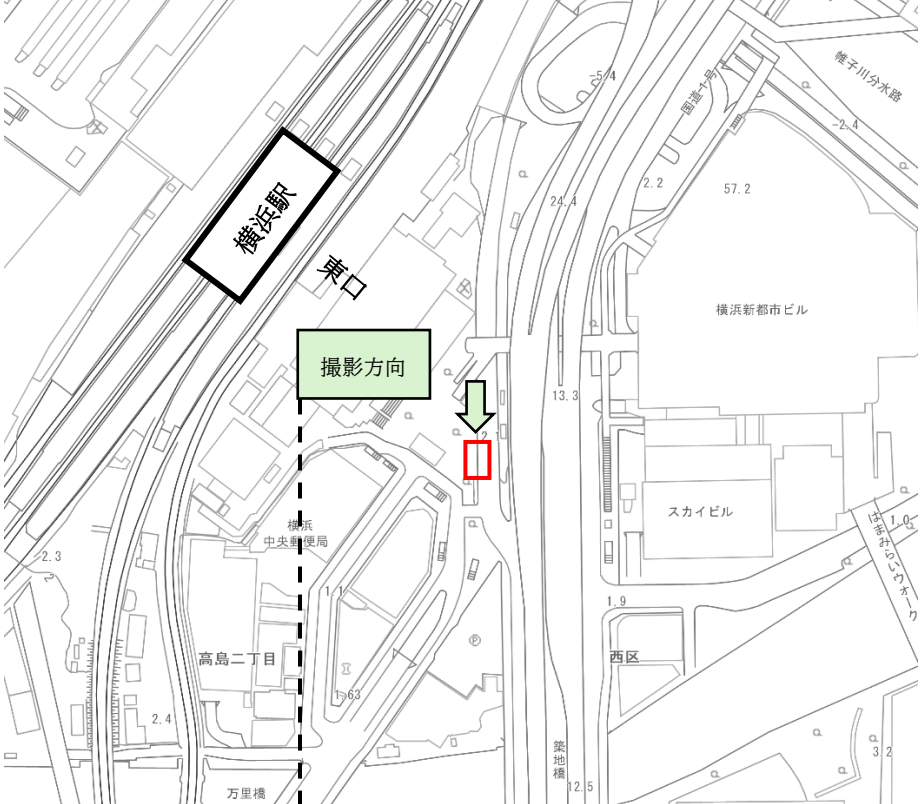
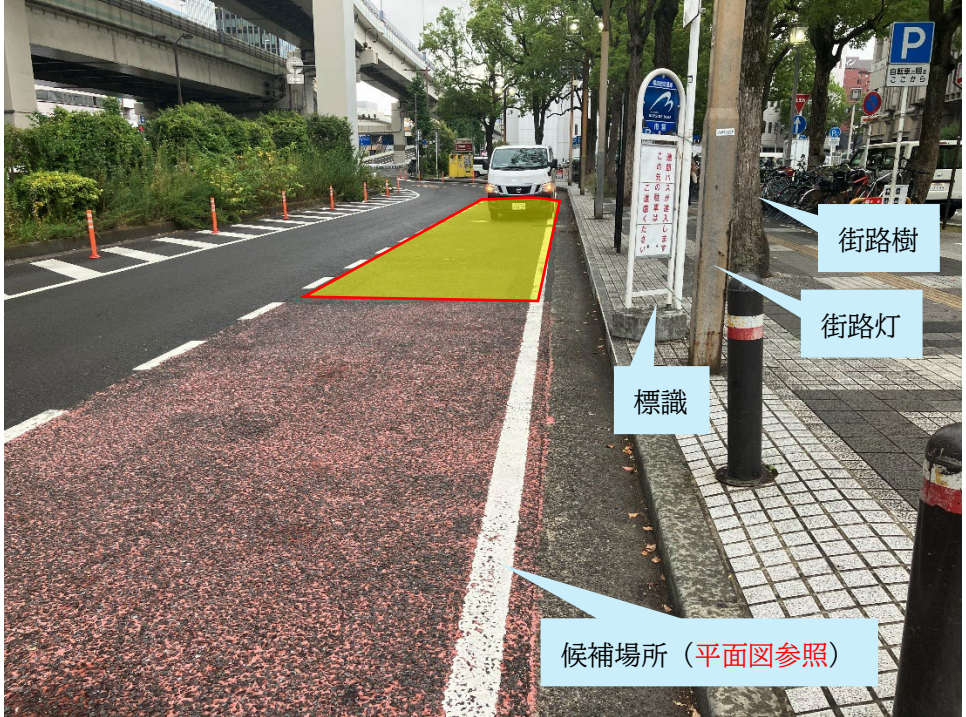
縮尺 三百分の一



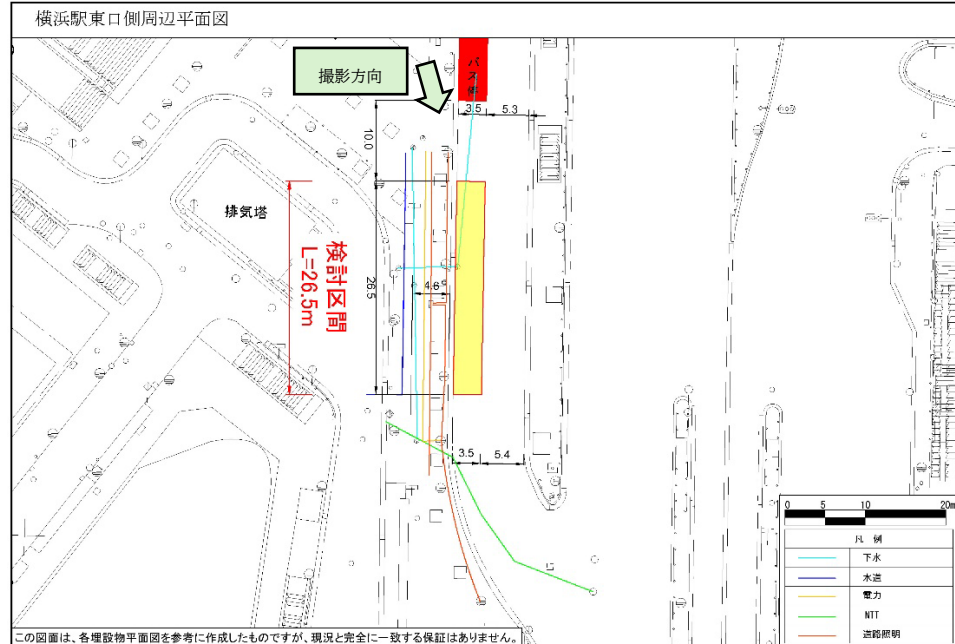
この図面は、各埋設物平面図を参考に作成したのですが、現況と完全に一致する保証はありません。
また、道路構造物標準図集より道路照明管の土被りは0.6m以上確保することとされているため、本図では土被り0.6mを仮値として使用している。

【別紙1】候補場所一覧

(3) 横浜駅東口側周辺

設置場所	路側帯（横浜市西区高島2丁目16地先）
位置図	
現場写真	

平面図



留意事項

■検討区間について

- ・道路交通法第 44 条に従い、乗合自動車の停留所から 10.0m 以上離隔した位置および道路上のマンホールを避けた位置に設置を検討する
- ・上記平面図に示す $L = 26.5\text{m}$ の区間内で検討すること

■駐車マスについて

- ・幅 $2.5\text{m} \times$ 長さ 5.5m とする
- ・マス間の間隔は最低 1.0m 確保すること
- ・駐車マス外の側方余裕幅を考慮し、利用者の安全性に配慮すること

■区画線について

- ・駐車マス設置箇所の区画線を引き、前後道路との視認性が明確になるよう配慮すること

■充電器設置について

- ・充電器は歩道部に設置すること
- ・歩道部内の障害物（街路灯、街路樹）を移設せずに設置可能な位置に配置すること
- ・地下埋設物（道路照明用埋設管等）との十分な離隔を確保すること

■交通安全対策について

- ・駐車マスが充電スペースであることが視覚的に分かる道路標識等を設置すること
- ・当箇所は歩道部の歩行者が多く見られることから、周辺車両だけでなく歩行者にも配慮した安全対策を講じること

横浜駅東口側周辺平面図

縮尺 三百分の一

